

## ㈱坂本建運安全衛生推進大会\_2015. 9. 25

各位

昨日、深澤さんと坂本建運様の安全衛生推進大会に出席致しました。  
安全講話が実に当たり前のことながら、忘れがちなことであり、そこにリスクが潜むことを改めて感じました。また、これらは現場業務だけでなく事務所内、家庭内においても大切な事と感じましたので、皆さんと共有したいと思います。

### ■安全講話 東鉄工業 神戸（かんべ）さん

#### 1. 安全最優先の価値観

安全と品質は車の両輪であり、民間であるかぎり生産性も無視できません。

機業としては悩ましい問題では有りますが、それでも安全は全てに優先されなければなりません。

- ・ 事故を起こしてしまえば品質も生産性も全く担保されない。
- ・ 被災者となった時の自分や家庭の気持ちを想像してみよ！  
※代わりは居ないのだから、怪我をしてはいけない。させてはいけない。

#### 2. 基本動作を行う意味

正しい知識を有し正しい手順を習得していれば、気が緩んでいる時でも正しい動作に導かれる確率が高くなる。また、意識して基本動作を徹底していれば集中力が高まり、事故の確率は軽減し作業の精度（品質）も高まる。

※スポーツのルーティングにも通じますね。

#### 3. 慣れが進むとどうなるか？

慣れとは一連の動作を意識しなくても出来るようになる事だが、未熟時の恐怖は薄れ（麻痺し）ちょっとしたイレギュラーが有った時にエラーが発生する。

※それを防ぐ為、基本動作“指差喚呼”等が生まれた。

#### 4. 錯覚、思い込み

知識や経験が豊富な者（ベテラン等）に多い“決めつけ”がエラーの原因になる。

※これを防ぐには、大事な事は声に出し周りに発信することで、チームとしての作業や確認にすることが大切。

#### 5. コミュニケーションの大切さ

言葉の足りなさ、知識の足りなさが大きなエラーを生む。

中途半端なコミュニケーションとならない様に会話を意識する必要がある。

- ・ 聞き手の意識→不思議に思う事、判らない事は必ず確認する！
- ・ 話し手の意識→説明や指示を省略しない！

※職場に“恥ずかしい…” “怒られる…” “このぐらい判っているだろう…”

“新人じゃないんだから…” “上司やベテランの言う事だから…” 等々は禁物。

何でも言い合える環境が安全な環境とチームを作ると心得よ！

以上、ご参考まで。

## ■坂本社長挨拶

安全に勝るものはありません。年に一度のこの大会を、己を改めて振り返る良い機会としていただければ幸いです。

安全とは文字からも判るように、家内に“女（家族）”と“王（主）”が揃ってはじめて成立するものです。日々無事（五体満足で）に家に帰ることが大切なんです。

大事な体（己）を傷つけない。また、大事な仲間を傷つけない為にも基本動作の徹底が必要です。

-----FUSO----

三菱ふそうトラック・バス株式会社

南関東・甲信ふそう

甲府支店 担当常務

甲府支店長

平田 榮一